

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（1個人・3団体）

はやし はつお
林 初郎 様

（鹿児島県電波適正利用推進員協議会 推進員）

鹿児島県電波適正利用推進員協議会の会長職をはじめ、長きにわたり協議会の活動に尽力され、電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に推進するなど、地域における適正な電波利用環境の構築に多大な貢献をされました。

福岡県粕屋警察署 様

（代表：署長 笠野 良尚）

不法に開設された無線局の排除のため、積極的に捜査活動を行い、被疑者を摘発するなど、安心・安全な電波利用環境の構築と秩序維持に多大な貢献をされました。

福岡県朝倉市 様

（代表：市長 林 裕二）

九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市杷木地区を放送区域とする臨時災害放送局をいち早く開局し、災害に関する情報や生活に役立つ情報の発信に努めるなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

株式会社奄美通信システム 様

（代表：代表取締役 椋山 廣市）

昨年の大型台風により鹿児島県奄美地方で多くの住民が被災し、放送や通信設備に甚大な被害が発生する中で、昼夜を問わず設備の早期復旧に尽力され、地域住民の生活に不可欠な放送と通信の確保に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1個人・5団体）

はしもと ひろし
橋本 博 様

（西日本電信電話株式会社九州事業本部九州ブロードバンド推進室 室長）

長きにわたり九州の地方公共団体に対して、新たな情報通信基盤整備方式の提案や助言を行うなど、地域間の情報格差の是正に多大な貢献をされました。

長崎県 様

（代表：知事 中村 法道）

県の防災システムと連携したＬアラートを導入し、地域住民へ災害に関する情報の迅速かつ効率的な伝達と情報共有の強化を図るなど、防災・減災対策におけるＩＣＴ利活用の高度化の促進に多大な貢献をされました。

鹿児島県肝付町 様

（代表：町長 永野 和行）

地域のＩｏＴ実装を推進するため「地域ＩｏＴ官民ネット」に発足当初から参画され、ＡＩやＩｏＴを活用したバス運行及び高齢者や児童見守りの実証など、先進的な取り組みを行い、その成果の周知展開を図るなど、地域におけるＩｏＴの普及促進に多大な貢献をされました。

一般社団法人九州テレコム振興センター 様

（代表：会長 村山 伸樹）

九州地域の情報化を推進するため、長きにわたり情報通信分野における広域的な産学官連携の推進を図るとともに、情報通信の基盤整備や利活用にかかる自治体への支援など、九州における地域情報化に多大な貢献をされました。

株式会社長崎国際テレビ 様

（代表：代表取締役社長 袴田 直希）

放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。

株式会社南日本放送 様

(代表：代表取締役社長 中野 寿康)

放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞(学校部門)

大分市立碩田学園 様

(代表：校長 佐藤 修)

標語『SNS 気づいてあげて SOS』

「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者(1個人・1団体)

あんざい ひろじ
安在 博二 様

(延岡市立黒岩小中学校 校長)

放送電波の受信障害防止の意義を深く認識され、長きにわたり中学校教諭として「受信環境クリーン凶案コンクール」に積極的に取り込まれ、広く受信障害に関する知識の啓発に寄与されるなど、電波利用における公共の福祉の増進に多大な貢献をされました。

熊本市新市街商店街振興組合 様

(代表：理事長 安田 二郎)

九州受信環境クリーン協議会と共催で「受信環境クリーンフェア」を開催し、テレビ・ラジオ放送の受信障害の未然防止に関する周知啓発活動を積極的に推進され、電波利用における公共の福祉の増進に多大な貢献をされました。